

2024 年 5 月 30 日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

セキュリティ機能を強化したローカル 5G 環境を提供 SIM カードを用いた IoT デバイスによる不正な通信を検知

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:新宮 達史、本社:東京都港区、略称:CTC)は、IoT デバイスについてのセキュリティ機能を強化したローカル 5G 環境の提供を本日から開始します。サービスを提供する通信事業者や、導入を検討している製造業や建設業へ展開し、3 年間で 30 社 20 億円の売上を目指します。

企業や自治体に独自の 5G 通信基盤であるローカル 5G は、高速で超低遅延、多数接続といった機能を安定的に使用できるネットワークですが、基地局そのものに対する脆弱性攻撃に加えて、スマートフォンを含めたネットワーク上の IoT デバイスからの侵入やウイルス拡散などのセキュリティリスクも想定されます。多岐にわたる OS やハードウェアの IoT デバイスが増加することで、セキュリティポリシーの徹底やファームウェアの更新などの運用管理が煩雑になるという課題もあります。

今回 CTC が提供するセキュリティ機能を強化したローカル 5G 環境は、汎用サーバを使用した環境にローカル 5G 向けセキュリティ製品を組み合わせたものです。

セキュリティ製品は、トレンドマイクロ株式会社の台湾グループ会社 CTOne (CEO: Jason Huang) のローカル 5G 向けセキュリティ「Trend Micro Mobile Network Security (以下、TMMNS)」を使用します。エンドポイントセキュリティ機能を内蔵したセキュリティ SIM カードとネットワークセキュリティ機能を連携させた包括的な製品で、リアルタイムでローカル 5G 環境を可視化して、不正な通信を検知した場合に、該当する IoT デバイスをネットワークから遮断することを可能にしたソリューションです。

ローカル 5G の基地局を構築する汎用サーバ及び ASOCS Ltd. (CEO: Gilad Garon) のソフトウェア製品「CYRUS (サイラス)」と併せて TMMNS を利用することで、コストを抑えたセキュアなローカル 5G の導入が可能になります。

CTC は、総務省が主導した令和 4 年度の「課題解決型ローカル 5G 等の実現に向けた開発実証」に参画し、管理工数の低減やセキュリティリスクの拡大抑止などの検証を実施しました。本実証においては、各 IoT デバイス固有の情報や状態の監視・可視化、不正な IoT デバイスの検知・遮断などの必要性を確認し、想定されるセキュリティ対策としての TMMNS の有効性を検証しました。

CTC は今後も、ローカル 5G の品質向上につながるサービスを拡充し、導入に関連する手続きや作業から運用保守、遠隔監視サービスなども含めて、ローカル 5G の利用拡大に貢献していきます。

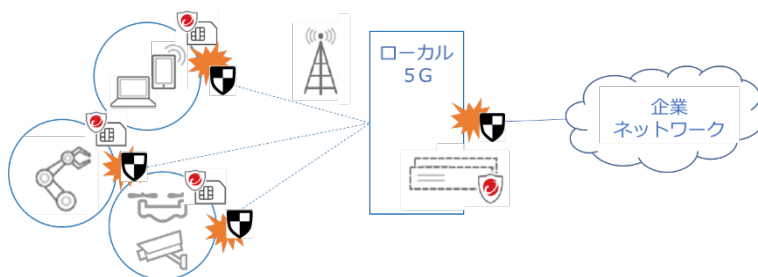


図:ローカル 5G のセキュリティ防御イメージ

2024 年 5 月 29 日 (水)～31 日 (金)の 3 日間、東京ビッグサイトで開催される日本最大級の無線通信の専門展示会「ワイヤレスジャパン×ワイヤレス・テクノロジー・パーク(WTP)2024」に、ローカル 5G とセキュリティ機能を組み合わせた 1BOX ソリューションを出展してデモを実施します。展示会の詳細、申込は以下の公式ウェブサイトをご覧ください。

会 期:2024 年 5 月 29 日 (水)～31 日 (金)

開 催 地:東京ビッグサイト

小 間 番 号:W-73

申 込 サイト: <https://www8.ric.co.jp/expo/wj/>

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

E-mail: press@ctc-g.co.jp